

事務事業評価シート

作成：総務課消防防災交通係

(1)事務事業	防災・減災に関する事務				
(2)根拠 (法令、 計画)	災害対策基本法				
(3)事務事業 目的	本町における、あらゆる大規模自然災害に対するリスクを想定し、最悪の事態を避けられるよう、「野木町地域防災計画」や各計画及びマニュアル等に基づき、行政機能を維持するとともに、町民の生命・財産を守り、町民生活及び地域経済に及ぼす影響の最小化を図るため、危機管理体制の強化を図る。				
(4)事務事業 内容	災害に対する予防応急対策が的確・円滑に実施できるよう準備し、大雨や大雪等の気象警報・特別警報、大型の地震の震度速報、ゲリラ攻撃情報等の国民保護関係情報など、緊急性のある防災に関わる情報を配信している。				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	地域防災計画等に基づく訓練の実施や、災害時の情報発信として有効な「防災たより」の登録者増を目指す。 成果指標 1：町主催防災訓練の実施 成果指標 2：防災たより登録者数の増				
(7)活動指標	地域防災計画、洪水ハザードマップ、各種マニュアル等の策定及び随時見直しを行う。また、計画に基づく備蓄品の整備を着実に行う。 活動指標 1：各種防災関係計画等の見直し 活動指標 2：災害用備蓄品（主食）の備蓄数増				
(8)目標達成状況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔 件 〕	0	1	1
	成果指標 2	〔 名 〕	2,635	2,692	2,758
	活動指標 1	〔 件 〕	1	2	2
	活動指標 2	〔 食 〕	6,306	6,649	6,599
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	全国的な大規模災害の発生状況等を勘案しながら、各種計画の策定及び改訂を行い、備蓄品等の拡充や防災たよりの登録者数を増加させ、安全・安心なまちづくりの推進を着実にやっている。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③	7,970	8,600
		その他	④	0	0
		一般財源	⑤	763	1,909
	事業費		⑥	8,733	10,509
	人件費		⑦	2,844	2,848
	正職員数		⑧	0.5	0.5
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	11,577	13,357
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	458.8	532.2

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	消耗品費	一般財源	352	無
	2	印刷製本費	一般財源	128	無
	3	工事請負費	地方債・一般財源	8,800	無
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	予算はハード・ソフトともに町民の安全・安心を守るために必要な経費として支出しており、必要不可欠な事業であるとともに、今後も必要な事業を検討しながら予算計上を行う必要がある。	
(13)評価	今後の方向性	維持
	今後の大規模災害の発生に備え、必要に応じた各種計画の見直しや備蓄品等の拡充、災害情報発信方法の充実化を図りながら、町民の安全・安心を守っていく。	

事務事業評価シート

作成：総務課消防防災交通係

(1)事務事業	自主防災組織に関する事務				
(2)根拠 (法令、 計画)	災害対策基本法				
(3)事務事業 目的	災害時に地域の中で助け合いを行う「共助」を推進し、地域の防災力を向上させるため、「自主防災組織」の設立や支援を行う。 また、防災に関する専門知識を有し、有事の際に自主防災組織等で活躍が期待される「防災士」の資格を有した町民を増やすため、資格取得者の増加を目指す。				
(4)事務事業 内容	阪神淡路大震災以降、自主防災組織の結成が推進されている。本町においても、災害対策基本法の趣旨に沿い、当該組織の結成を推進している。 町では、自主防災組織に対して防災訓練や研修会への支援、運営費や資機材の整備補助を実施している。現在も、全地区に自主防災組織が結成されるよう推進している。				
(5)対象者	自主防災組織の会員及び防災士				
(6)成果指標	自主防災組織及び防災士の増加を図る。 成果指標 1：自主防災組織数 成果指標 2：防災士数				
(7)活動指標	町と自主防災組織との連携強化を図るため、訓練又は研修への参加促進を図る。また、防災士資格取得者の増加を図るため、費用補助を行う。 活動指標 1：地区防災訓練実施数 活動指標 2：防災研修等参加数				
(8)目標達成状況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔組織〕	7	7	7
	成果指標 2	〔名〕	28	29	30
	活動指標 1	〔件〕	0	0	4
	活動指標 2	〔件〕	2	2	2
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	コロナ禍において、地区防災訓練や研修への参加が中止となったが、令和 5 年度以降は実施数が戻りつつある。また、防災士資格取得者も増加しており、地域防災力の向上に貢献していると考え				

〔単位：千円〕

			No.	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
				実績	実績	実績
(10) コスト分析	財 源 内 訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④			
		一般財源	⑤	618	312	364
	事業費		⑥	618	312	364
	人件費		⑦	1,138	1,139	1,155
	正職員数		⑧	0.2	0.2	0.2
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	1,756	1,451	1,519
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	69.6	57.8	60.9

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	補助金	一般財源	364	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	自主防災組織の活動が促進されるよう補助金を交付しており、今後組織の活動が拡充され、予算増の要望を受けた際には検討が必要となる。 また、防災士資格取得希望者が予算計上人数を上回った際には、希望者の意識低下を招かぬよう、補正等により支援が必要。	
(13)評価	今後の方向性	維持
	今後も地域防災力の向上を図るため、自主防災組織、防災士への支援及び町との連携強化を図りながら事業を行っていく。	

事務事業評価シート

作成：総務課消防防災交通係

(1)事務事業	消防団に関する事務				
(2)根拠 (法令、 計画)	消防団設置等に関する条例				
(3)事務事業 目的	小山市消防署野木分署との連携を図りながら、消防団活動の充実を目指すことにより、町の消防体制の構築と町内における火災件数の減を図る。				
(4)事務事業 内容	年間を通し、町消防団の各種訓練等（夏季点検、水防訓練、ポンプ操法大会、通常点検、中継送水訓練、各種教育・研修等）を実施し、団員の士気を高め、消防技術を向上させ消防体制の充実を図っている。				
(5)対象者	野木町消防団員				
(6)成果指標	町内における火災発生数等の減を図る。 成果指標 1：消防出動数 成果指標 2：水防出動数				
(7)活動指標	小山市消防署野木分署との連携を図り、消防体制の充実を図る。また、消防団による点検、訓練や火災予防運動を通じ、団内の連携強化や消防意識の高揚を図る。 活動指標 1：幹部会開催数 活動指標 2：夏季・通常点検の開催				
(8)目標達成状況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔 件 〕	10	7	3
	成果指標 2	〔 件 〕	0	0	0
	活動指標 1	〔 回 〕	6	6	6
	活動指標 2	〔 回 〕	0	2	2
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	コロナ禍により点検や訓練が中止となっていたが、近年は点検、訓練や火災予防運動も実施しており、消防団活動を適切に実施している。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③	19,400	20,500
		その他	④	0	0
		一般財源	⑤	1,421	1,829
	事業費		⑥	20,821	22,329
	人件費		⑦	4,551	4,556
	正職員数		⑧	0.8	0.8
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	25,372	26,885
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	1,005.5	1,071.2

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	報償費	一般財源	478	無
	2	消耗品費	一般財源	2,176	無
	3	食糧費	一般財源	317	無
	4	修繕料	一般財源	23	無
	5	備品購入費	地方債・一般財源	21,775	無
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	消防団の活動に係る交付金、報酬や備品等整備のための支出が主であり、団の運営に必要な不可欠な予算となっている。今後も、各分団の活動が充実するよう、必要な経費について適切に予算措置する必要がある。		
(13)評価	今後の方向性		維持
	近年火災による出動や水害による出動数は減少傾向にあるが、引き続き小山市消防署野木分署との連携強化及び消防団の活動強化に努め、いつ何時消防団の出動が発生しても良いよう体制強化を図っていく。		

事務事業評価シート

作成：総務課消防防災交通係

(1)事務事業	防犯灯整備事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	防犯灯設置内規				
(3)事務事業 目的	町内に防犯灯を設置することにより、安全安心のまちづくりを推進する。				
(4)事務事業 内容	町内に設置している防犯灯の維持管理を行う。 区長から防犯灯の設置要望を受け、現地調査及び工事発注を行う。				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	防犯灯の効果的な整備を行う。 成果指標 1：防犯灯の設置基数				
(7)活動指標	区長から設置要望を受け、現地調査を行い、設置の必要性を検討していく。 地区懇談会等において、要望等をいただき、防犯灯の設置について、地元区長と協議していく。 活動指標 1：防犯灯の設置要望数				
(8)目標達成状 況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔 基 〕	9	13 (繰越分 含む)	11
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔 件 〕	11	10	12
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	区からの設置要望により防犯灯を設置し、安全安心のまちづくりを推進することができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	499	473
	事業費		⑥	499	473
	人件費		⑦	1,707	1,709
	正職員数		⑧	0.3	0.3
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	2,206	2,182
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	87.4	86.9

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	工事費	一般財源	480	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	総合計画の「犯罪のないまちづくり」の考え方に則し、防犯対策を強化するための事業として十分に効果はある。	
(13)評価	今後の方向性	維持
	今後も地域の現状に応じて防犯灯を設置し、安全安心のまちづくりを推進したい。	

事務事業評価シート

作成：総務課消防防災交通係

(1)事務事業	交通安全施設整備事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	野木町交通安全条例				
(3)事務事業 目的	道路における危険防止と交通の円滑化を目的に、効果的な交通安全施設の整備を図り、交通事故の抑制に努める。				
(4)事務事業 内容	町内に設置している道路反射鏡（カーブミラー）の維持管理を行う。 区長及び自治会長から道路反射鏡（カーブミラー）の設置等の設置要望を受け、現地調査及び工事発注を行う。				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	道路反射鏡（カーブミラー）等の効果的な整備を行う。 成果指標 1：道路反射鏡（カーブミラー）の設置数				
(7)活動指標	区長及び自治会長から設置要望を受け、現地調査を行い、設置の必要性を検討していく。 活動指標 1：道路反射鏡（カーブミラー）の設置要望数				
(8)目標達成状 況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔 基 〕	9	5	4
	成果指標 2	〔 〕			
	活動指標 1	〔 件 〕	9	5	4
	活動指標 2	〔 〕			
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	町内に道路反射鏡（カーブミラー）等を設置することにより、安全安心のまちづくりを推進することができた。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	2,300	2,301
	事業費		⑥	2,300	2,301
	人件費		⑦	1,707	1,709
	正職員数		⑧	0.3	0.3
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	4,007	4,010
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	158.8	159.7

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	工事費	一般財源	2,200	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	総合計画の「犯罪のないまちづくり」の考え方に則し、防犯対策を強化するための事業として十分に効果はある。		
(13)評価	今後の方向性	維持	
	今後も地域の現状に応じて防犯灯を設置し、安全安心のまちづくりを推進したい。		

事務事業評価シート

作成：総務課消防防災交通係

(1)事務事業	交通安全啓発事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	交通安全対策基本法				
(3)事務事業 目的	広く町民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図る。				
(4)事務事業 内容	町・小山警察署・小山地区交通安全協会・各関係団体との連携を図り、交通事故防止を図るため、積極的に交通安全啓発活動を実施する。				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	交通事故発生件数の削減。 成果指標 1：交通事故の件数 成果指標 2：交通死亡事故の件数				
(7)活動指標	交通安全運動啓発活動の実施。 活動指標 1：交通安全啓発活動の回数 活動指標 2：早朝街頭啓発活動の回数				
(8)目標達成状況		単位	令和 3 年度実績	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績
	成果指標 1	〔 件 〕	39 (令和 3 年)	32 (令和 4 年)	40 (令和 5 年)
	成果指標 2	〔 件 〕	0 (令和 3 年)	0 (令和 4 年)	2 (令和 5 年)
	活動指標 1	〔 回 〕	3	3	3
	活動指標 2	〔 回 〕	7	9	10
	活動指標 3	〔 〕			
(9)成果・効果	総合計画の「交通事故のないまちづくり」の考え方に則し、交通安全啓発事業として交通事故防止の抑制に十分に効果はあった。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	549	428
	事業費		⑥	549	428
	人件費		⑦	1,707	1,709
	正職員数		⑧	0.3	0.3
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	2,256	2,137
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	89.4	85.1

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	消耗品費	一般財源	550	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察	総合計画の「犯罪のないまちづくり」の考え方に則し、防犯対策を強化するための事業として十分に効果はある。		
(13)評価	今後の方向性	維持	
	今後も地域の現状に応じて防犯灯を設置し、安全安心のまちづくりを推進したい。		